

内容

IVUS の基本について

NURD (Non-uniform rotation distortion)について

機械式 IVUS カテーテルのトランスデューサー回転ムラによるアーチファクト。VH ではない (solid state 方式のため)

Dissection の所見

Hematoma の所見

Negative contrast

生理食塩水でフラッシュすると血球エコーが消失して観察しやすくなる)

石灰化 (napkin ring) について

症例提示

右冠動脈入口部に血栓性の閉塞 (心房細動による血栓?)

IVUS 像で、前後にプラークがはっきりせず、突然の狭窄が入口部にあり、解離の所見は認められなかった。

大動脈解離が冠動脈にまで波及した症例

IVUS にて解離像と血腫による圧迫像を認めた。

LAD just take-off での完全閉塞 (急性心筋梗塞) 部位の同定に IVUS が有効であった症例

Angio では LAD 起始部の同定が困難であったが、LCX 側に通した IVUS で LAD を確認し、LAD が確認できる位置で IVUS プローブを固定して撮影し、そのシネ画像をメルクマールとして LAD にガイドワイヤーを通すことに成功した。

この discussion から何を学ぶか

IVUS の画像から多くの情報が得られ、アンギオでは不確定 (少なくとも我々レベルでは) で判断に迷う場合は、IVUS が助けになることは多い。それは確実に安全な PCI につながることを考える。